



那珂市議会広報編集委員会
平成30年10月22日発行 No.59

議会だより

特集

シリーズ

地域の伝統文化④

額田まつり実行委員会

インタビュー

Contents

特集	2
平成29年度決算	4
議案等審議	6
一般質問（質問者9名）	9
請願・陳情の審査結果	14
閉会中の議会活動	16
議員勉強会	17
次回定例会の開会予定	18

特 集

シリーズ
地域の伝統文化④

額田まつり 実行委員会 インタビュー

今回は、額田神社にて額田まつり実行委員会の方々に、「まつり復興」に向けた先人方の熱き思い、次世代に継承するための課題と、様々なお話を伺いました。



大切な神事を次世代に

しっかりと継承していききたい

額田まつりにはどのような歴史があるのか教えてください。

額田まつりは、静神社の磯下りとともに実施されてきましたが、1833年(天保4年)に磯下りに変わり額田神社の大祭礼として始まりました。関東有数のまつりともいわれましたが、

大正13年の祭礼を最後に、しばらく休止しておりました。しかし氏子の皆さんの

「まつり復興」に対する熱い思いが実を結び昭和51年8月29日に規模を縮小して再開され、現在まで継承されています。

額田まつりにはどのような

特徴があるのか教えてください。

まつりは、宮出式に始まり古式豊かな神社行列と、5町内の山車と通り囃子保存会によるガガリコ、厄年会・颯陸会による鹿島神、八幡神の神輿渡御とまつり広場での様々なイベントが催されます。

額田まつり実行委員会はどのような活動をしているのか教えてください。

郷土のまつり文化発展のための活動・郷土の文化遺産や歴史の伝承・各町内地域の各種団体との融和、明日の地域社会を担う子供たちとともに、地域に残された優れた文化遺産や歴史を



伝承し、確かな人間関係を構築し、地域全体の協調と連帯感を深め、健康で活力ある地域を目指し活動しています。

後継者の育成などはどのようにしていますか。また今後の課題はありますか。

子ども会、子ども会育成会、商工会青年部、厄年会等の積極的な参加を求めて後継者の育成を図っています。人口減少による太鼓の伝承や山車の引手、神輿の担ぎ手の不足、氏子の減少による資金不足、まつり環境の整備と様々ありますが、たとえ規模縮小になる事があっても、大切な神事を次世代にしっかりと継承していきたいです。

市や議会に対してどのようなことを期待しますか。

参道の整備、歴史文化遺産の保全のための助成、無形民俗文化財の市指定登録の指導と配慮をお願いしたいです。

平成29年度のお金の使われ方を確認しました

一般会計歳出決算

186 億 7874 万円

特別会計歳出決算総額

147 億 2259 万円

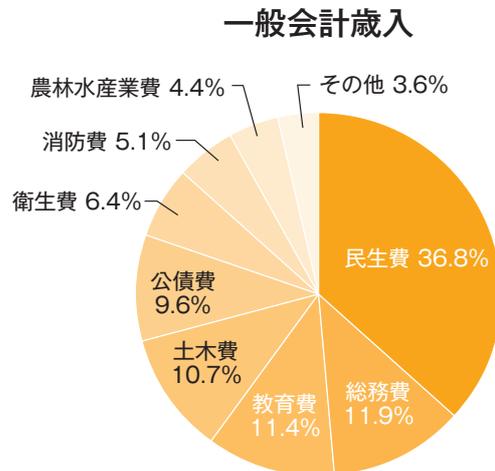
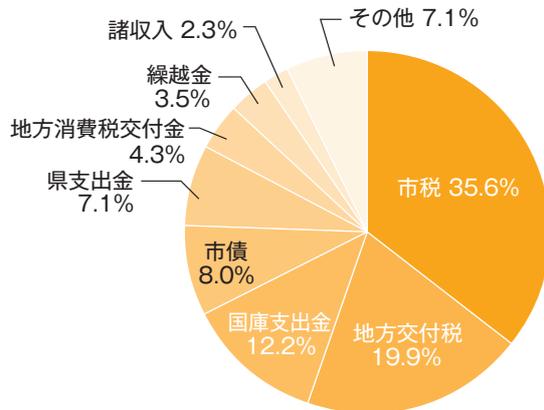
※上記金額は、千円台を四捨五入したものです。

会計別歳出決算額

一般会計	
	186 億 7873 万 5449 円
特別会計	
国民健康保険	64 億 5892 万 6603 円
下水道事業	19 億 1616 万 8117 円
公園墓地事業	874 万 1795 円
農業集落排水整備事業	11 億 5374 万 6987 円
介護保険	44 億 6958 万 7533 円
上菅谷駅前地区土地区画整理事業	1 億 3520 万 6101 円
後期高齢者医療	5 億 8021 万 4648 円
水道事業会計	
収益的支出	13 億 0698 万 8153 円
資本的支出	9 億 2578 万 2499 円

9月4日に、市長から平成29年度の決算が提出されました。決算の審議は、9月11日から13日の3日間にわたって、各常任委員会で行われました。その結果、平成29年度の決算は全て認定されました。

ここでは、今回確認した平成29年度のお金の使われ方と、主な事業についてご紹介します。



小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%とはなりません。



両宮排水路整備事業

(繰越明許費含む)

事業費
1億6047万7538円

両宮排水路(菅谷・田彦)総延長のうち未整備区間を整備し、安定した排水処理と冠水被害を抑制して安心安全なまちづくりを進めるための事業です。



いい那珂暮らし応援子育て世帯住宅取得助成事業

事業費
2020万円

夫婦のいずれかが40歳以下の世帯が、市内での定住を目的に住宅を取得した場合に助成するものです。
市内転居68件249人、市外からの転入67件231人でした。



コミュニティースクール

推進事業

事業費
19万8120円

白鳥学園において、学校運営協議会19人が3部会(地域教育部会・評価広報部会・コーディネート部会)に分かれて、それぞれの目的に応じて活動しています。



ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業

事業費
747万9872円

ひとり暮らし高齢者は1075人で、同事業は75歳以上の独居世帯又は65歳以上の介護が必要な高齢者のみの世帯が対象です。平成29年度は新規32件で、202件に設置しています。

●平成30年 第3回定例会●

那珂市の

こんなことが決まりました

◆会期 18日間 9月4日～21日

《傍聴者 119人》

今回提出された議案等は
 市長提出案件…21件
 請願・陳情…1件
 議員提出案件…2件
 計24件

提出された議案等とその結果

※請願・陳情の内容は別途掲載しております。
 14ページをご覧ください。

議案等番号	議案等名	内 容	結果
報告 10	専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）	市の過失による事故等に対する損害賠償額の報告。	—
報告 11	平成 29 年度決算に基づく地方公共団体の財政の健全化に関する法律による健全化判断比率の状況について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく那珂市の健全化判断比率の報告。	—
報告 12	平成 29 年度決算に基づく地方公共団体の財政の健全化に関する法律による資金不足比率の状況について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく那珂市の資金不足率の報告。	—
報告 13	平成 29 年度那珂市一般会計継続費精算報告書について	総合計画策定事業及び公立幼稚園建設事業（基本・実施設計分）に係る継続費について精算が完了したことによる報告。	—
議案 49	那珂市議会議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	公職選挙法施行令の改正に伴うもの。主な内容は、選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担の限度額を引き上げるもの。	可決
議案 50	那珂市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	那珂市健康増進計画推進委員会設置要綱及び那珂市のちを支える自殺対策協議会設置要綱を策定するにあたり、その委員の報酬及び費用弁償について、新たに規定するもの。	可決
議案 51	那珂市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴うもの。内容は、放課後児童支援員の基礎資格の規定の改正。	可決
議案 52	那珂市農政審議会条例の一部を改正する条例	常陸農業協同組合の組織及び役員の変更等に伴うもの。内容は、農政審議会の構成委員の役職名を改めるもの。	可決
議案 53	静峰ふるさと公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	静峰ふるさと公園内にノルディックウォーキングコースを整備したことに伴うもの。内容は、ノルディックウォーキング用のポールの器具使用料の徴収について規定するもの。	可決
議案 54	平成 30 年度那珂市一般会計補正予算(第 2 号)	歳入歳出それぞれ 1 億 6780 万 4000 円を減額し、総額を 205 億 6491 万 6000 円とするもの。主な内容は、防災設備整備事業の減額など。	可決
議案 55	平成 30 年度那珂市国民健康保険特別会計(事業勘定) 補正予算(第 1 号)	歳入歳出それぞれ 1099 万円を増額し、総額を 58 億 1399 万円とするもの。主な内容は、償還金の増額など。	可決
議案 56	平成 30 年度那珂市下水道事業特別会計補正予算(第 1 号)	歳入歳出それぞれ 685 万円を増額し、総額を 22 億 3685 万円とするもの。内容は、一般管理事務費の増額。	可決

議案等番号	議案等名	内 容	結果
議案 57	平成 30 年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第 1 号）	歳入歳出それぞれ 6181 万 8000 円を増額し、総額を 46 億 6981 万 8000 円とするもの。主な内容は、償還金の増額など。	可決
議案 58	防災情報システム整備事業に係る契約の締結について	防災行政無線の更新整備を行うため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に基づき議会の議決を求めるもの。	可決
議案 59	公有財産の条件付贈与（無償譲渡）について	旧日本米崎小学校校舎を「特定非営利活動法人 虹のポケット」へ学童保育事業を開設する条件付きの贈与（無償譲渡）をするため、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。	可決
議案 60	市道路線の変更について	市道路線 2 件の変更のため、道路法に基づき議会の議決を求めるもの。	可決
議案 61	平成 29 年度那珂市各種会計歳入歳出決算の認定について	前年度決算。4 ページを参照。	認定
議案 62	平成 29 年度那珂市水道事業会計決算の認定について		認定
議案 63	平成 30 年度那珂市一般会計補正予算(第 3 号)	歳入歳出それぞれ 5946 万 8000 円を増額し、総額を 206 億 2438 万 4000 円とするもの。内容は、旧歯科ビルの解体に係る財産管理事務費、小学校空調設備整備事業の増額など。	可決
議案 64	那珂市監査委員の選任について	監査委員 1 名の任期満了に伴い、後任者を選任するもの。	可決
議案 65	人権擁護委員の推薦について	人権擁護委員 4 名の任期満了に伴い、3 名の委員を再推薦し、新たに 1 名の委員を推薦するもの。	可決
請願 2	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	提出者：茨城県教職員組合 代表者 杉山 繁 外 193 名	採択
発議 2	保健所再編についての意見書	現機能での常陸大宮保健所の存続を求め、二次保健医療圏域設定の見直し及び常陸大宮保健所に統合させる再編案も比較検討することを要望するもの。	可決
発議 3	那珂市議会委員会条例の一部を改正する条例	地方自治法の改正に伴うもの。内容は、閉会中に委員を選任する必要がある場合の選任方法を条例に追加するもの。	可決



賛否が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対

※議長(君嶋寿男議員)は採決に加わりません。

議案等名	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		大和田和男	富山 豪	花島 進	君嶋 寿男	筒井かよ子	寺門 厚	小宅 清史	綿引 孝光	木野 広宣	古川 洋一	萩谷 俊行	勝村 晃夫	中崎 政長	笹島 猛	助川 則夫	遠藤 実	福田耕四郎	欠 員
議案第 63 号 平成 30 年度那珂市一般会計補正予算(第 3 号)	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	—
発議第 3 号 那珂市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

総務生活常任委員会

◆議案第 59 号 公有財産の条件付贈与 (無償譲渡) について

旧日本米崎小学校を特定非営利活動法人「虹のポケット」に無償で譲渡します。利活用について公募をし、2 事業者から応募があり、学童保育事業を開設する「虹のポケット」に校舎(建物)を現状のまま譲渡することになりました。

Q なぜ無償なのか、賃貸の方法もあるのではないですか。

A 都市計画法により、自己所有でなければ事業開設が出来ません。また、国庫補助金を用いて建設した校舎は 10 年以上経過している場合は、無償譲渡であれば国へ報告することのみで補助金相当分の基金積立が不要となります。

Q 災害発生時の一時避難場所と指定されていますが、今後はどうなりますか。

A 地元からは防災機能の維持のために引き続き避難所の確保を要望されているため、「虹のポケット」と防災協定を締結することにより、災害時における地域防災拠点としての機能を維持できます。

Q 市の維持管理費の削減は図れますか。

A 年間管理費約130万円が削減できます。

◆報告事項

デマンド交通「ひまわりタクシー」の域外運行実証事業について

ひまわりタクシーの市外への運行を求める声が多数あります。特に水戸市への希望が多くあることから検討していましたが、来年度より2年間実証運行をすることとなりました。

運行便数、車両を増やし土曜日も運行します。

水戸市の乗降場所は、水戸駅北口は降車のみ、京成百貨店は乗降共に利用でき

ます。利用料金は、中学生以上600円、障がい者等、小学生（保護者同伴）200円です。

運行便数は、現在1日8便ですが、12時と17時を新たに増便し10便となります。

運行日は、現在月曜日から金曜日ですが、月曜日から土曜日（祝日、年末年始は運休）となります。

水戸市の乗降場所の選定は、周辺公共交通事業者の経営への影響、安全に乘降できる場所等を考慮し、路線バス等に乗り換えができれば場所を選定しました。

産業建設常任委員会

◆報告事項

那珂市下水道事業地方公営企業法適用推進事業の進捗状況について

下水道事業を取り巻く経営環境が厳しさを増している中で、将来にわたり安定的に下水道事業を継続して

いくため、地方公営企業法の適用により公営企業会計に移行し経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組む必要があります。

市では、平成32年度会計からの適用に向けて、公共下水道事業及び農業集落排水事業に係る固定資産の調査のほか、計画的に法適用事業を進めていくと報告を受けました。

教育厚生常任委員会

◆報告事項

那珂市運動部活動の運営方針について

「茨城県運動部活動の運営方針」を踏まえ、中学校において生徒にとって望ましいスポーツ環境を構築するため、那珂市運動部活動の運営方針を策定しました。

Q 毎年度活動方針を作成するとありますが、校長が代わったときに方針が大幅に変わってしまつて生徒たちが戸惑うことはありませんか。

んか。

A 市内中学校の校長で常に意見交換しておりますし、教育委員会でも学校間のばらつきがないように指導していきます。

Q 一日の部活動時間を限定したり、朝の活動を原則行わないなどの内容になっていますが、この活動方針は、生徒のためになっていますか。

A 各学校長が部活動主任などから聞き取りを行い、それを受けて担当者の協議会を開催して要望を取りまとめる機会を設けました。生徒たちの意見を聞き取るところまでは出来ていますが、今後生徒たちの意見を反映させる手法を検討していきます。



注1：地方公共団体が経営する企業が事業を運営するための法律。市の財政から独立することで財政の健全性を維持するとともに経営の効率化を図るもの。

一般質問

Q & A

《質問者 9名》

※一般質問の記事は、質問した議員が各自で作成しています。

P10 遠藤 実 議員

- ◇学校教育環境の改善について
- ◇空き家対策の推進について
- ◇防災体制の強化について

P10 花島 進 議員

- ◇中学校、小学校の職員の勤務状況について
- ◇小学校、中学校の環境について
- ◇保健所統廃合問題について
- ◇国民健康保険、保険税の見直しについて
- ◇福島第一事故対応で、那珂市が使った費用について
- ◇原子力災害広域避難計画について
- ◇東海第二原発の運転期間延長問題について

P11 木野 広宣 議員

- ◇就学援助の対応について
- ◇ひとり親支援について
- ◇終活について
- ◇健康診断について

P11 笹島 猛 議員

- ◇人口減少対策について
- ◇空き家対策について

P12 富山 豪 議員

- ◇国道118号拡幅について
- ◇投票率の向上について
- ◇詐欺・悪質商法の被害防止
- ◇情報伝達方法でのSNSのあり方について

P12 筒井かよ子 議員

- ◇子宮頸がんワクチンについて
- ◇児童虐待について
- ◇認知症について
- ◇市内の防犯について
- ◇市長の今後の市政運営について

P13 小宅 清史 議員

- ◇商工の拠点施設を考える
- ◇自治会制度について考える
- ◇流入人口の取り込みを考える
- ◇老後を考える
- ◇茨城テレビ局構想を考える

P13 寺門 厚 議員

- ◇土地改良推進事業の進捗状況について
- ◇農業用水の現状について
- ◇防災対策について

P14 古川 洋一 議員

- ◇教育環境について
- ◇粗大ごみの収集について
- ◇市政運営について

学校教育環境の改善について

学校のエアコン整備を100%に 来年度から設置工事に入ります



遠藤 実 議員

Q 市内小中学校の敷地内に危険なブロック塀はどのくらいありますか。また、その危険性をどのように除去していきますか。

A 教育部長 小中学校にブロック塀等は4つあり、そのうち建築基準法に適合していないものは3つです。対応として、菅谷小のごみ置き場の囲いは上部を切断して高さを抑制し、那珂二中の投てき板は全て撤去しました。瓜連中のプールの囲いについてはエックス線による非破壊検査を実施して安全であることが確認されています。

Q 子どもを取り巻く危険性除去という観点から、毎日行き来する通学路にある危険なブロック塀の所有者に対して適切な管理を呼びかけていく必要があると思いますが、どうですか。

A 教育部長 市のホームページなどでもブロック塀の適切な管理について掲載していますが、今後も周知に努めていきます。

Q 今年は早々に梅雨が明け、連日酷暑の中子ども達は学校に通っていましたが、名古屋では熱中症で亡くなる児童もおられたほどです。那珂市は普通教室のエアコン設置率が4%しかないのです。エアコン整備を優先させるべきですが、どうですか。

A 教育部長 本市としても普通教室のエアコン整備を最優先課題として取り組んでいきたいです。

Q 来年度には設置率を100%にしていたのですが、どうですか。

A 市長 来年度から設置工事に入れるようスピード感をもって取り組みます。

国民健康保険、保険税の見直しについて

県会計へ移行2年目の見直しは 保険税の減額は見通せない



花島 進 議員

Q 国民健康保険は、今年度から、県主体の会計に制度変更されました。今年度は、基金の取り崩しにより、保険税の基準を値上げせず

に済みましたが、次年度の見直しはいかがですか。また低所得者の国保税の減額を検討していただきたいです。

A 保健福祉部長 平成30年度当初予算では、国保の基金から1億4408万円の取り崩しを予定していましたが、平成29年度の繰越金が3億6285万円発生したこと、基金の取り崩しは行わないで対応することができると見込みです。

しかし、新しい制度においては、国や支払基金からの補助金などが茨城県に一括歳入され、今までのような市での繰越金の発生はなくなりません。

さらに、医療費の増加も懸念され、県に納める国保事業費納付金の算定に大きく影響されます。

2年目の見直しについては、現時点において31年度の納付金額がいくらになるか、見直しを立てることが非常に難しく、さらに基金等の状況を見ますと、国保税の減額を検討する状況にはないと考えています。

低所得者層の保険税の減額については、国において軽減の対象となる基準額を年々拡大しており、低所得者層が軽減対象(減額対象)に該当できるよう対策が進められています。

市としては、所得の確定により、軽減の対象となるかどうか判断できるよう未申告者に対して申告の実施を促すなど、税の軽減措置の適切な運用に努めます。

就学援助の対応について

支給額の格差があるが本市は

国で示している額に準じて設定



木野 広宣 議員

Q 文部科学省は要保護児童生徒援助費補助金要項を平成29年3月31日付けで改正しました。就学援助要保護児童のランドセルの購入等「新入学児童生徒学用品費」の単価を従来の倍額にするとともに、その支給対象者にこれまでの児童、生徒から新たに就学予定者が加えられました。市としての対応について伺います。

A **教育部長** この制度は経済的理由により就学が困難な児童・生徒に対する援助になります。援助対象となるものは学用品、通学用品、新入学用品、修学旅行費、給食費、医療費などになります。

Q 本市ではどのように周知して対応されているのか伺います。

A **教育部長** 毎年度学校を通してチラシを保護者に

配布して制度案内をしています。また、新入学児童については就学時健診の際に案内を配布しているほか、ホームページや子育てハンドブックに掲載しています。申請については学校を通して教育委員会に提出することになっていきます。

また、関係する社会福祉課、こども課とも連携し、該当する世帯の漏れがないように取り組んでいます。

Q 市町村において支給額の格差があるのか伺います。

A **教育部長** 市町村により若干の差があるのが現状になります。本市の支給額設定については国で示している額に設定しており、県内で支給されている最高額になります。

空き家対策について

空き家対策条例施行後の取組みは

空き家等対策協議会を設置します



笹島 猛 議員

Q 平成29年4月から那珂市空き家等の適正管理に関する条例施行後のこれまでの実績と主な取り組みについて伺います。

A **市民生活部長** 条例施行後は、空き家等に関する対策の進め方等を協議してきました。それにより、自治会による調査の4段階評価の中で、状態が最もひどい建物の現況調査を実施し、台帳を作成しました。今後は、空き家等対策協議会を設置してまいります。

Q 市内の空き家数は、879戸、今後、空き家が増え続ける中で本市は、危険が生じた空き家全てを公費で解体することはないのか伺います。

A **市民生活部長** 条例をもとに行政指導と勧告をし、最終的に条例第9条で代執行を行った場合、その

費用を建物所有者から徴取することになっていきます。

Q 相談者が迷わずに相談できるような空き家等に関する総合的な窓口を設置してはどうか伺います。

A **総務部長** 現在、空き家に関連する業務については、複数の課が対応しております。窓口が複数あることにより、相談者が迷ってしまうなど利便性の観点からも、窓口を一本化する必要があると考えており、現在、空き家対策の総合的窓口設置に向けた組織の体制づくりを進めています。

Q 空き家対策条例が形だけにならないような本市の方向性を伺います。

A **市長** 空き家対策を総合的に実施するための那珂市空き家対策計画の策定と住民のための総合的窓口の設置を進めます。

周辺沿線の土地利用は

制度の範疇で規制誘導を図ります



稲山 豪 議員

Q 今回の拡幅工事に伴い周辺の土地利用についてどのように考えていますか。

A 建設部長 平野台入り口交差点付近の市街化区域については、平成20年に瓜連駅南口への都市計画道路の開通時に、国道118号の拡幅も見越した上で、主に住宅のみが建築可能であった第一種低層住居専用地域から一定規模の店舗等が建築可能な第二種住居地域に用途地域を変更しています。当該市街化区域にはまだ未利用地があることから、引き続き都市的土地利用を図っていきたいと考えています。また、市街化調整区域については、コンビニエンスストアや飲食店など日常生活に必要な店舗等であれば許可ができる可能性がありますが、現在の都市計画法の制度の中で規

制誘導を図っていききたいと考えています。

Q 主要幹線道路が整備されることにより、人や土地の動きも活発となり、地域の活性化につながります。市街化調整区域についてもある程度、土地利用の規制緩和をどうですか。

A 建設部長 市街化区域の中にはまだ未利用地があるとともに、国道118号沿線につきましても都市計画法の規制の外にも保全すべき優良農地である農用地区域であったり、埋蔵文化財などの包蔵地が広範囲に存在しているなど、他法令での規制も含め総合的に考えると、新たな市街地の誘導は非常に困難な状況にあると考えます。したがって、現在の土地利用制度の範囲の中で規制誘導を図ります。

親への情操教育はどのように

小学生以下の保護者を対象に実施



筒井かよ子 議員

Q 5歳の女の子が両親から虐待を受け「もうしませんゆるしてください」とひらがなの文字を残し命を落としました。虐待を未然に防ぐためにも、親への情操教育が重要であると考えます。どのように行っているのかお伺いします。

A 保健福祉部長 未就学児を持つ保護者を対象に「子どものほめ方講座」を地域子育て支援センターで、小学生以下のお子さんへのいる保護者を対象に「怒鳴らない子育て」プログラムを、こども課家庭児童相談室で実施しています。また、健康推進課とこども発達相談センターでも子育てについての相談を行っています。

Q 講座内容及び参加人数をお伺いします。

A 保健福祉部長 「子ども

ものほめ方講座」は全5回のプログラムで参加者は5名(延べ20名)。「怒鳴らない子育て」は全7回のプログラムで参加者は5名(延べ29名)。内容は少人数で行うプログラムとなっており、ロールプレイングを交えながらより実践的に、上手なほめ方・困った行動をした時の心を落ちつけた叱り方などを学びました。どちらも楽しく子育てができるよう支援する内容となっています。また、少人数の講座ということで、お互いに子育ての悩みを打ち明け易い雰囲気となり、「他の参加者と悩みを共有できたことが良かった」との声が寄せられました。

今後このような講座を継続して実施し、子育ての不安解消、児童虐待の防止に努めていきます。

商工の拠点施設を考える

商工の拠点を那珂インターに 開発の可能性を調査研究します



小宅 清史 議員

Q 那珂市ではたくさん種類の農作物がとれます。そして商工会なども努力して新商品の開発に励んでいます。しかしその売り先が乏しいのが現状です。他市には道の駅などができましたが、那珂市の資産と言える大きなアドバンテージは、やはり常磐道那珂インターです。常磐道の利用車数は一日平均21万4千台です。ここに販売拠点を

作ることによって「地元と競合しない」さらには「那珂市の知名度アップ」というメリットがあります。市としてどのような施策がとれますか。

A 企画部長 那珂インター周辺地区につきましては、県北地域の玄関口でもあり那珂市を含む県北地域の活性化にとって大変重要な地区であると認識してい

ます。多くの課題がありますが、いかなる手段も排除することなく開発の可能性を調査研究し、民間事業者と協働できる部分は協働し、有効な土地利用が図れるよう推進してまいります。

Q 開発にかかるインフラ整備の問題もあります。上下水道の整備、高速道路からの出入り、国道118号・バードラインの4車線化など国県との粘り強い交渉が必要で、高速道路沿いを通る東京ガスのパイプラインを民間事業者が利用することは可能ですか。

A 企画部長 飯田地内の管理事務所には取り出しが可能となる施設がありますので、民間事業者がこれを活用することは、東京ガスと協議のうえ可能です。

土地改良推進事業の進捗状況について

寄居・鴻巣地区畑総整備状況は 本年度の仮同意取得を目指します



寺門 厚 議員

Q 平成27年より進めている畑地帯総合整備事業寄居・鴻巣地区の整備進捗状況はどうなっていますか。

A 産業部長 平成28年9月に各地区事業推進協議会を設立後、定期的に協議会を開催し、勉強会など話し合いを通し、本年度の仮同意取得を目指します。

Q 仮同意取得には、国営緊急農地再編整備事業戸多地区の反省も踏まえ、未同意者へのわかりやすく丁寧な説明をお願いします。では、この整備事業の完了時期はいつ頃になりますか。

A 産業部長 平成32年度の事業審査を経て平成33年度には事業採択、平成34年度から工事中し、着工から3年後の完了を見込んでいます。

Q 畑総整備完了後に栽培する作物の提案が、2年以

上も経つのに未だ提案できていませんが、いつ提案できますか。

A 産業部長 畑総整備による効率的な水利用を図るため、畑地かんがい営農技術実証ほ場整備事業によるモデルほ場の設置について社会福祉法人実誠会「なるみ園」と昨年度から話し合っています。今後5年間で栽培技術の検証や分析、研修会を開催し、生産性の向上や所得向上を見込める栽培作物の研究を行って、高収益な営農が地域において確立できるよう提案していく予定です。

Q 対象地区の方へ、栽培作物提案も含め進捗状況報告を実施して欲しいのですがいかがですか。

A 産業部長 協議会とも相談し実施したいと思いません。

小中学校のエアコン整備は急務 市の最優先事項として進めます



古川 洋一 議員

Q 今夏の酷暑は災害といっても過言ではないと思

いますが、夏休み前の公開授業に学校を訪れた保護者の方々からは「こんな環境の中で生活できるのか。授業にも集中できないのでは」といった声が聞かれました。年々進む温暖化を考えると、この暑さを想定外とか一時的なものとして片付けようとすれば、人災と言われても仕方がありません。小中学校のエアコン整備は急務であり、計画を前倒しして早急に設置すべきと考えますが、いかがですか。

A 教育部長 普通教室のエアコン整備を最優先課題として進めていきます。現時点では、設計後、小学校で一年、中学校一年で整備できればと考えています。

Q 県立高校も全校で整備

するとのことですが、電気料は保護者負担のようです。本市では電気料の保護者負担を求めるのですか。

A 教育部長 保護者負担は一切考えていません。

Q 市長は来年度から設置工事に入れるようスピード感を持って取り組むと答弁しましたが、国の財政支援が確約されていない中で進めるということは、あくまでも教育予算の枠内で、つまりエアコンを設置する代わりに他の教育関連の事業を取りやめるということですか。それとも市の最優先事業として教育予算とは別枠で措置するというのでしょうか。

A 市長 すでに決まっている他の教育予算を削ることとは考えていません。空調整備に特化してやるということです。

請

願

陳

情

今回の定例会で採決した請願・陳情の概要をお知らせします。

《請願 1件／陳情 0件》

請願第2号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願

採択

水戸市笠原町978・46

茨城教育会館2F

茨城県教職員組合

杉山 繁 ほか193名

教職員の多忙化や学校を

とりまく状況の複雑化が大きな社会問題となっている中で、子供たちの豊かな学びを保障していくために、

少人数学級の推進、教職員の長時間労働是正のための定数改善、義務教育費国庫負担制度の堅持のための予算措置の継続を求めるものです。

本会議での採決の結果、全会一致で採択と決定し、国の関係機関に意見書を提出することとしました。

ピックアップ

✔こんな那珂市にしたい「私の公約」コンテスト

8月25日（土）に開催された、なかひまわりフェスティバル2018の那珂市議会ブースで「こんな那珂市にしたい『私の公約』コンテスト」を行いました。
ここではコンテストの優秀提案をご紹介します。

みんな思いやりができる那珂市にしたい

須田 愛生さん（中里）

殺処分ゼロのまちにしたい

須田 煌生さん（中里）

大人も子供もやさしさあふれる

感謝でいっぱいのもちにした

萩野谷美紀さん（菅谷）



正副議長と記念撮影



議長室にて表彰



コンテストの様子

こんな那珂市にしたい

「私の公約」コンテストとは

市民の皆様自身が考える、将来どんな那珂市にしたいかを「私の公約」として書いて投票していただき、その中から優秀提案者を決定するコンテストです。

閉会中 議会活動レポート

定例会閉会中（6月～8月）の那珂市議会の主な活動をご紹介します。

活動日誌

6月	27日 議会広報編集委員会
7月	2日 鹿児島県曾於市議会視察来庁 5日 議会広報編集委員会 12日 議会広報編集委員会
8月	3日 議会広報編集委員会取材 6日 教育厚生常任委員会 24日 議会広報編集委員会 24・25日 横手市議会友好交流 25日 なかひまわりフェスティバル 28日 議会運営委員会 全員協議会 百条委員会 議会広報編集委員会

※活動日誌中「百条委員会」＝「菅谷地内旧歯科ビル及び土地の寄附に関する調査特別委員会」

議会運営、議会報告会について

鹿児島県曾於市議会が視察来庁

7月2日（月）に、鹿児島県曾於市議会の議会運営委員会委員7名及び議長が視察のために来庁しました。

主な視察事項は、議会運営、議会報告会についてで、那珂市議会の議会運営委員会委員及び正副議長が出席し対応しました。

会期日程や各議員の賛否状況の公開、議会改革、議会報告会の参加者を増やす取り組み等の説明をしました。

質疑・応答の際には、視察事項のほかにも様々な意見交換ができ、那珂市議会にとっても大変有意義な機会となりました。



視察対応の様子

議員勉強会

多くの声を集め意見集約するための手法及び運営・実践を学ぶ

日時 平成30年7月6日(金)
午後1時30分～午後3時
場所 全員協議会室



今年の「議会報告会」は、「議員と語ろう会」として、単に議会から報告し、市民の意見を聞くという従来の進め方ではなく、あるテーマについて、議員と市民の皆様と大いに語り合う新しい方式で進めていきます。そのためには、議員一人ひとりが、どういう方法で進めれば、市民の皆様が気軽に話でき、皆様の意見をどう集約して市政に反映していくかということをお勉強しておく必要があります。そこで今回の勉強会は、市民と気軽に話し合える手法及び運営について学ぶことにし、茨城大学の伊藤教授に講師を依頼しました。

まず、テーマを「子育て支援はどこまですべきか」に決め、グループを3つに分けて、多くの意見を出してもらおう手法や意見を集約する「ワールドカフェ」手法を中心に解説を受け、実践してみるという形で進めました。たくさんの人の声を聞きながらそれを「我がこと」として考えること、他の人の意見は批判しない、前例にとらわれないプランを練ることが大切であることを学びました。今回の勉強会の成果を活かすべく、10月の「議員と語ろう会」が、市民の皆様と気軽に話し合える場となるよう注力していきます。

講師 伊藤 哲司 氏 茨城大学 人文社会科学部 教授



名古屋大学文学部哲学科卒業。同大学院文学研究科で修士・博士を修了。1993年に茨城大学人文学部に赴任し、2014年からは同大学内の地球変動適応科学研究機関長を兼務。社会心理学を専門とし、「気候変動への適応」を主たるテーマとするサステイナビリティ学の研究・教育にも取り組んでいる。



まちかど

ニュース

なかひまわりフェスティバル 2018 瓜連おはやし保存会

平成 30 年 8 月 25 日 (土)
那珂総合公園にて

次回 12 月定例会

日	月	火	水	木	金	土
11/25	26	27	28	29	30	12/1
	本会議 (議案上程など)		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)		
2	3	4	5	6	7	8
		総務生活 常任委員会	産業建設 常任委員会	教育厚生 常任委員会	原子力安全対策 常任委員会	
9	10	11	12	13	14	15
				議会運営委員会 全員協議会	本会議 (委員長報告 議案等採決)	
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

※会議は、原則として午前10時開会です。

平成30年第4回定例会:11月26日~12月14日

平成 30 年第 4 回 (12 月) 定例会の日程 (案) は左のとおりです。

会議は原則公開となっております。所定の用紙にご記入いただくだけで、どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

また、請願・陳情を議会へ提出される場合は、11月16日(金)17時まで、議会事務局までご提出ください。

議会録画映像を公開しています

那珂市議会では定例会、臨時会の本会議の録画映像を「You Tube」の動画サイトで公開しております。詳しくは、那珂市ホームページの「那珂市議会」のページをご覧ください。

那珂市

検索

(「那珂市議会」のページ内の「議会中継」から「You Tube」を開くことができます。)



編集後記

3日間行方不明の2歳の男児が、スーパーボランティアおじさんによって山中から無事救出されました。「子どもは上へ登る」という独自の信念のもと単独で捜し続け、発見した男児をしっ

かりと腕に抱き下山した時の日焼けした笑顔は自信に満ちていました。自分の意志を貫き前進する姿は老若男女問わず美しいものであると感動しました。

(筒井かよ子)

議会広報編集委員会

委員長 大和田和男
副委員長 富山 豪
委員 筒井かよ子
委員 古川 洋一
委員 勝村 晃夫
委員 遠藤 実